



NPO法人  
インターナショナル ネイル アソシエーション  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-5-1 ボックスハツミ5F  
Tel 03-6277-3877 Fax 03-6277-3897

[www.i-nail-a.org](http://www.i-nail-a.org)

2016/1/2000/I-NAIL-A技能検定執行委員会発行



# ジェルネイル 技能検定試験 3級 / 2級 / 1級

試験要項

INTERNAIL

## ジェルネイル技能検定試験

【試験構成】	3級／2級／1級
【受験資格】	義務教育修了者。(未修了者は保護者の承諾書を提出) 2級は3級認定者、1級は2級認定者。(ステップアップ方式／飛び級無し。)
【認定基準】	3級：実技試験と学科試験の合格で認定　2級／1級：実技試験のみ合格で認定 <ul style="list-style-type: none"><li>3級で実技試験／学科試験どちらかのみが合格した場合、再受験の際は合格科目が受験免除となる。(免除期間の制限なし。)</li></ul>
【受験料】	各級 10,000 円(税別)* 3級のみ再受験免除科目があり、実技試験／学科試験のいずれかのみ受験の場合は 7,000 円(税別)

### 学科試験（3級のみ）時間30分　マークシート方式

【合格基準】出題 50 問(1問2点)のうち 40 問以上正解(80 点以上)で合格とする。

【内容】ネイルの衛生学　人体のしくみ　ネイルとその異常　マニキュアリストの化学　ネイル概論　ネイルの技術

●ネイル概論および技術は、ネイルケア、カラーリング、ジェルネイルを含む全てのアーティフィシャルネイルに関した出題となります。

【参考テキスト】『ネイル・プロフェッショナル』『ネイル・プロフェッショナル　ジェルネイル編』『検定試験対応例題集』

●受験者は筆記用具(鉛筆・消しゴム)を必ず持参すること。試験中の貸し借りは禁止。試験会場で の貸し出しは行いません。筆記用具が無い場合は試験を受けることができませんので、失格となります。

### 実技試験　3級:70分　2級:85分　1級:100分　各級とも80点以上で合格とする。

### 試験内容と試験の流れ　（詳細は各級「実技試験　各工程の詳細」を参照）

3級	2級	1級
<p>ネイルケア(事前に済ませておく)</p>	<p>ネイルケア(事前に済ませておく)</p>	<p>ネイルケア(事前に済ませておく)</p>
<p>テーブルセッティング　10分 *同時にモデルチェックを行います。</p>	<p>テーブルセッティング　10分 *同時にモデルチェックを行います。</p>	<p>テーブルセッティング　10分 *同時にモデルチェックを行います。</p>
<p>▼</p> <p>プレパレーション　15分　▷　審査</p>	<p>▼</p> <p>プレパレーション　10分　▷　審査</p>	<p>▼</p> <p>プレパレーション　10分　▷　審査</p>
<p>▼</p> <p>アプリケーション　45分　▷　審査 右手5本　コーティング(クリア) 左手5本　カラーコーティング(マツト赤)</p>	<p>▼</p> <p>アプリケーション①　20分　▷　審査 チップオーバーレイ　2本(爪の指定なし)</p>	<p>▼</p> <p>アプリケーション①　20分　▷　審査 スカルプチュア　2本(爪の指定なし)</p>
	<p>▼</p> <p>アプリケーション②　45分　▷　審査 カラーコーティング10本　パールホワイト</p>	<p>▼</p> <p>アプリケーション②　60分　▷　審査 カラーコーティング10本　フレンチネイル</p>

●実技試験の受験者は、使用する器具／材料を必ず持参すること。(試験会場で の貸し出しは行いません。)器具／材料が無く、工程が行えない場合や仕上がりに支障があった場合は、失格または減点となります。

●試験要項に記載された事項が守られていないとみなされた場合は失格または減点となるので、要項を熟読すること。

**実技試験の合格基準**  
仕上がりのフリーエッジの長さが、手のひら側から見て指先から3mm程度以上10mm程度以下(3級は1mm程度以上10mm程度以下)で、10本の爪の長さ／形／厚さのバランスが揃っていること。試験要項に記載された技術全てが手順どおり衛生的に行われ、時間内に終了していること。ジェルネイルの特性を理解した技術が行われ、得点が合格基準に達していること。

### 学科試験／実技試験　試験全般に関する失格・減点・注意事項　(3級／2級／1級共通)

### 失格事項

- 受験者およびモデルが遅刻した場合。(受験票に記載された時間内に受付できなかった場合。)
  - 試験運営上支障が無い場合に限り受験可能ですが、失格となります。
- 受験票を忘れ、受付時間内に身分証明書等で本人確認ができない場合。
  - 試験運営上支障が無い限り受験可能ですが、失格となります。
- 試験中、不正行為（カンニング等）があった場合。
  - 実技試験において、試験要項や手順等が記載されたものを試験中に見る（セッティングする）ことは、不正行為とみなします。
  - 実技試験において、モデルが試験内容に関する指示や指導を行っているとき審査官が判断した場合は不正行為とみなします。
  - 学科試験において、テキスト類や、他の受験者の回答を見たと審査官が判断した場合は不正行為とみなします。
- 試験中、他の受験者に迷惑が及ぶ言動が見受けられた場合や、審査官の指示に従わなかった場合。
  - 失格とし、試験会場から退出していただきます。
- 実技試験中、各工程終了の指示後にモデルの手指および爪に触れ、技術を行ったとき審査官が判断した場合。

- ### 減点事項
- 受験票を忘れ、受付時間内に身分証明書等で本人確認ができた場合。
    - 受験可能ですが、減点となります。
  - 試験中に受験者およびモデルの携帯電話等の音（マナーモードの振動音も含む）が鳴った場合。（携帯電話等、音の鳴る機器類の電源は切り、時計、アラーム類については消音しておくこと。）

- ### 注意事項
- 試験中、受験者およびモデルが離席する場合は、審査官の指示に従うこと。(離席は失格、減点になりません。)
    - 実技試験中に離席した場合は、手指消毒を行った後、技術を再開して下さい。(手指消毒を行わなかった場合は減点となります。)
    - モデルの離席により技術や審査に支障が生じた場合、仕上がり審査を含め試験および審査に関わる考慮は致しません。
    - 審査中の離席は原則として禁止としますが、止むを得ない場合は審査官に申し出て指示に従って下さい。
  - 緊急用呼び出し機器類については、受付の際に申告し、許可を得て下さい。(許可を得たものについては失格、減点になりません。)

### 実技試験　受験者／モデルに関する失格・減点・注意事項　(3級／2級／1級共通)　\*以下の事項が守れていない場合は減点または失格となります。

- ### 受験者／モデル　共通事項
- 手指および爪に施術を行えない疾患の疑いがないこと。『ネイル・プロフェッショナル』『ネイル・プロフェッショナル　ジェルネイル編』参照。
    - 審査官が疑いがあると判断した場合は、失格となります。
  - 公衆衛生上不適切とみなされる皮膚への装飾（刺青、タトゥー、ボディーアート等）が肘から先（指先まで）に露出していないこと。
    - 審査官が衛生上好ましくないと判断した場合は減点となります。
  - 肘から先（指先まで）に装飾品類を着用していないこと。
    - 時計、アクセサリ類（外すことができない装飾品の類を含む）を着用していた場合は減点となります。

- ### 受験者に関する事項
- 白衣に準じた衛生的な白無地の上着を着用すること。(白衣を着用することが望ましい。)
    - フリルやリボン等の装飾が施されたものや、技術に相応しくないと思われる過度な露出のあるもの（シースルー素材やノースリーブ、腰が露出する身丈の短い上着等）など、審査官が白衣に準じていないと判断した場合は減点となります。
  - 髪は清潔感のあるスタイルを心がけ、技術に影響しないようまとめること。
    - 髪が受験者およびモデルの手指、器具／材料に触れた場合は減点となります。

### モデルに関する事項

- ジェルネイルを施すために適切な爪の状態であること。傷んで極度に薄くなった爪は不可。
  - 審査官がジェルネイルを施すために不適切と判断した場合は減点となります。

- フリーエッジの長さは各級それぞれ次のとおりとする。
  - 3級　手のひら側から見て指先（ハイポニキウムの手先でなくてよい）から1mm　程度以上あること。
  - 2級　手のひら側から見て指先（ハイポニキウムの手先でなくてよい）から3mm　程度以上あること。チップオーバーレイを施す爪は3mm以下で可。1mm　以下に削っておいてよい。(プレパレーション終了までに1mm　以下に削ること。)
  - 1級　手のひら側から見て指先（ハイポニキウムの手先でなくてよい）から3mm　程度以上あること。スカルプチュアを施す爪は3mm以下で可。1mm　以下に削っておいてよい。(プレパレーション終了までに1mm　以下に削ること。)
- \*　審査官が3mm　程度（3級は1mm　程度）以下と判断した場合は失格となります。

- フリーエッジの形（スタイル）は自由。ただし、仕上がり10本の形（スタイル）は統一すること。
- ジェルネイルを施すために必要かつ適切なネイルケアが施されていること。
  - \*　審査官が適切なネイルケアが施されていないと判断した場合は減点となります。

- 原則としてナチュラルネイルであること。ただし、爪の亀裂や長さ不足については、以下の範囲内のリペア等のみ可とする。
  - \*　審査官が以下の範囲外と判断した場合、リペア等が不適切と判断した場合は失格または減点となります。
    - ジェルコーティング、チップオーバーレイ、スカルプチュアは3本まで可とする。
      - ・ただし、ジェルコーティング、チップオーバーレイ、スカルプチュアは試験で使用するジェルと同一ブランドのジェルで施しておくこと。
      - ・使用するジェルの色はクリアのみ、ネイルチップの色はクリアまたはナチュラルのみとする。
    - ネイルグルーまたはレジンのみを用いたリペアは本数を限定せず可とする。
    - ラップ、アクリル等、ジェル以外の材料を用いたリペアは不可とする。
    - リペア等はモデルの爪に合うように施し、実技試験終了時に　10　本の爪をバランスよく仕上げること。
      - ・リペア等によって　10　本の爪のバランスが揃わない仕上がりだった場合は減点となります。
      - ・モデルにリペア等を施している場合（10　本がナチュラルネイルでない場合）は、実技試験受付の際に申告すること。
    - 上記範囲内のリペア以外に、ジェルやアクリル、ネイルポリッシュ等が爪に付着していないこと。
      - ・ジェルやアクリル、ポリッシュが爪に残っていた場合は失格または減点となります。

- 試験運営や技術の妨げとならないよう、過度な露出のない、試験に相応しい衛生的な身なりを心がけること。

### 学科試験／実技試験　衛生に関する失格・減点・注意事項　(3級／2級／1級共通)　\*以下の事項が守れていない場合は減点となります。

- 器具／材料を落とした場合の処置

器具／材料を落とした場合は、放置せずにペーパータオルで挟んで拾い破棄し（破棄できないものは器具用消毒液で消毒してからセッティング、使用）、手指を消毒してから技術を再開すること。

  - \*　審査官が適切な処置が行われていないと判断した場合は減点となります。
- 材料を溢した場合の処置

放置せず、ペーパータオルで拭くなど直ちに処置すること。テーブルを汚してしまった場合は、試験終了後に審査官に申し出ること。

  - \*　審査官が適切な処置が行われていないと判断した場合は減点となります。
- 出血が生じた場合の処置

受験者、モデルに出血が生じた場合は放置せず、救急用具を用いて傷を消毒し、必要であれば止血する処置を行うこと。出血に起因した器具／材料は消毒後、破棄またはセッティングすること。出血の処置後は、手指消毒をしてから技術を再開すること。

  - \*　審査官が適切な処置が行われていないと判断した場合は減点となります。

- 試験中に使用する器具／材料類の汚れの処置**

器具／材料（ジェルブラシ含む）の汚れはワイブ類の容器またはペーパータオルの袋のどちらかにセッティングしたワイブまたは汚れを拭くためのペーパータオルで拭くこと。

汚れを拭くペーパータオルは作業エリアに置くこと。(サニタリーエリアに置くことは不可。)

汚れを拭くペーパータオルの重ね置きは不可。汚れが付着したペーパータオルは放置せずに破棄し、新しいものを取り出し交換すること。

  - \*　審査官が汚れの処置が衛生的でないと判断した場合は減点となります。

- 技術全般**

技術者は、自分の手指や爪で甘皮を押したり、グルーやジェルなどのクリーン、器具類の汚れを拭くなどしないこと。

試験中、作業エリア、サニタリーエリアは常に衛生的な状態を保つこと。(敷いたペーパータオルが汚れた場合は随時交換すること。)

  - \*　審査官が衛生的でないと判断した場合は減点となります。

実技試験 ジェル/ジェルネイル用ランプに関する失格・減点・注意事項 (3級/2級/1級共通) \*以下の事項が守れていない場合は減点または失格となります。

**使用できるジェルについて** \*以下の事項が守れていない場合は**失格**となります。

- 受験票に、使用するジェルとジェルネイル用ランプのブランドを記入しておくこと。
- 「ジェルブランド別対応商品一覧」に記載されたブランドのジェルのみ使用可。  
「ジェルブランド別対応商品一覧」はI-NAIL-A ウェブサイトからPDFファイルでダウンロードできます。
- アプリケーションで使用するジェルは、同一ブランドのものに限る。
- ジェルの容器の形状(コンテナ、刷毛付きボトル等)は問わないが、ブランドの容器のまま使用すること。(容器の移し替えは不可。)
- ミキシングしたジェル(自分で混ぜて作ったカラージェル)の使用は不可。

**ジェルの取り扱いについて** \*以下の事項が守れていない場合は**減点**となります。

- 試験中、ジェルに温度調整をすることは不可。
- 試験中、コンテナ容器の縁、刷毛付き容器のボトルネックは、汚れていない衛生的な状態を維持すること。

**使用できるジェルネイル用ランプについて** \*以下の事項が守れていない場合は**失格**となります。

- 「ジェルブランド別対応商品一覧」に記載されたランプのみ使用可。  
使用するジェルと同一ブランドのランプが望ましいが、異なるブランドのランプを使用しても可。ただし、「ジェルブランド別対応商品一覧」に記載されているランプに限る。

**ジェルネイル用ランプの取り扱いについて** \*以下の事項が守れていない場合は**失格**または**減点**となります。

- 内側、外側ともに汚れていない衛生的なランプを使用し、試験中も衛生的な状態を維持すること。
- ランプはタオル、ペーパータオル等で覆わずにセッティング、使用すること。(ランプをアームレストとして使用することは不可。)
- ランプのタイマーは消音しておくこと。ただし、消音できないランプを使用する場合のみ消音しなくて可。
- 電源がアダプタータイプのランプを使用する場合は、延長コードを持参すること。
- 試験中、技術を継続できないような不具合が生じた場合は審査官に申し出ること。ただし、会場での貸し出しは行いません。  
\*ランプの不具合によって技術に支障が生じた場合や技術が行えなかった場合は、減点または失格となります。

実技試験 使用する器具/材料に関する事項失格・減点・注意 (3級/2級/1級共通) \*以下の事項が守れていない場合は減点または失格となります。

#### 使用する器具/材料

3級/2級/1級 **必ずセッティングする器具/材料**  
手指用消毒液 / 器具用消毒液 / 爪用消毒液 / 救急用具 / ワイプ類 / 未硬化ジェル除去剤 / ベースジェル  
カラージェル (各級で指定された色 3級: マット赤/2級: パールホワイト/1級: フレンチのピンクとホワイト) / トップジェル  
ジェルブラシ / ジェルネイル用ランプ / アームレスト / エメリーボード類 / バッファー類  
ウッズスティック / ダスト用ブラシ / 白無地タオル (テーブルにでる部分が白であれば可) / 白無地コットン  
白無地ペーパータオル / ゴミ袋 (ジッパー付ビニール袋) / ゴミ袋を固定するテープ / トレイ

3級/2級/1級 **必要に応じてセッティングする器具/材料**  
ウェットステリライザー / プッシャー / キューティクルニッパー / ツイザー / スパチュラ / 照射時間を管理するタイマー  
ブラシクリーナー (爪用消毒液や未硬化ジェル除去剤と同一の溶剤の場合は、容器に全てのラベルを貼付すること。)

2級受験の場合**必ずセッティングする器具/材料**  
スカルプチュアジェル / ネイルチップ (ナチュラルまたはクリア) / ネイルグルーまたはレジジン  
シザー・クリッパー・チップカッターのうち使用するもの

1級受験の場合**必ずセッティングする器具/材料**  
スカルプチュアジェル / ネイルフォーム / シザー / クリッパー (使用する場合)

- 赤文字**のものには、内容を明記したラベルを貼ること。
  - 試験要項と同じ表記を用いること。(例 ○手指用消毒液 ×消毒用アルコール) 誤った表記は減点となります。
  - ベースジェルとトップジェル、爪用消毒液と未硬化ジェル除去剤などのように材料が重複する場合は、1つの容器(材料)に複数のラベルを貼付して可。
  - 試験中、ラベルが見えにくい場合など、審査官が材料を手にとってラベルや材料を確認することがあります。
- 青文字**のものは、ウェットステリライザーにセッティングすること。

- 試験要項に記載されていない器具/材料はなるべくセッティングしないこと。
- 記載されていない溶剤類をセッティングする場合は、内容物を明記したラベルを見やすい位置に貼ること。
- 使用するジェルの攪拌は試験中に行うこと。(攪拌不要のジェルは行わなくてよい。)

**使用する器具/材料のセッティング、取り扱いについて** \*以下の事項が守れていない場合は減点となります。

★**セッティングする全ての器具/材料は汚れていない衛生的なものとし、試験中も衛生的に取り扱うこと。**  
\*審査官が衛生的でないと判断した場合は減点となります。

- 消毒液** 手指用、器具用、爪用の3つの容器をトレイの所定の位置(テーブルセッティング例参照)にセッティングすること。
  - 手指用消毒液は、速乾性擦式消毒液または消毒用エタノールを使用すること。
  - 器具用消毒液は、消毒用エタノールを使用すること。
  - 爪用消毒液が未硬化ジェル除去剤、ブラシクリーナーと同じ容器の場合も、必ず消毒液の所定の位置にセッティングすること。

- 救急用具** 受験者およびモデルの手指を傷つけた場合に使用。傷用消毒液、消毒液を塗布する綿棒、止血用絆創膏を1つの袋にまとめ、救急用具と明記したラベルを貼ること。

- エメリーボード類/バッファー類** グリッドや形状に指定はないが、使用する箇所や使用するジェルに適したグリッド、形状のものを使用すること。

- ウッズスティック** コットン巻かず使用、巻いて使用どちらでも可。
  - コットンが巻かれたウッズスティックをトレイやサニタリーエリア、作業エリアに置くことは不可。(使用後はコットンをとること。)
  - ウッズスティックに巻いたコットンは素手で取らず、ペーパータオル(ワイプ類またはペーパータオルの袋にセッティング)で取ること。  
サニタリーエリア、作業エリアとして敷いたペーパータオルで取ることは不可。

- ウェットステリライザー** 器具用消毒液を入れても変質しないガラス等の器、容器。
  - 容器の底に白無地コットンまたは白無地ガーゼを敷き、器具消毒すべき箇所(キューティクルニッパーの刃先など)が浸る程度に器具用消毒液を入れること。  
刃先保護用のステリライザーパッド等を使用する場合も、パッドの上に白無地コットンまたは白無地ガーゼを敷くこと。
  - 試験中、ウェットステリライザーの消毒液が足りているかも配慮すること。

- トレイ** セッティングした容器などが倒れた場合でも溶剤がトレイから漏れないような素材、大きさ(深さ)のもの。
  - 紙やメッシュ(網)素材は不可。

- 白無地ペーパータオル** ジッパー付ビニール袋に入れ、取り出すとき以外は密封すること。
  - トレイの中、またはトレイの逆側(テーブルの上)にセッティングすること。

- 白無地コットン/ワイプ類**(ネイルワイプ、スポンジ、ペーパー、コットンいずれも可。)
  - 蓋付容器またはジッパー付ビニール袋に入れ、取り出すとき以外は蓋をし(密封し)、ダストがかからないようにすること。
  - 試験中、コットン・ワイプ類は作業エリアで使用し、不衛生な(使用後の)コットン・ワイプ類を作業エリアに放置しないこと。
  - ワイプ類とコットンを同じ容器に入れる場合は、容器に「ワイプ類」「コットン」両方のラベルを貼ること。

- プッシャー** メタル、セラミック、ストーン状いずれも可。ウェットステリライザーにセッティングすること。
  - セラミック、ストーン状のものは使用後にジッパー付ビニール袋に入れトレイに置いて可。

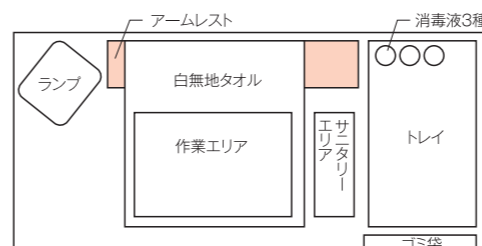
- スパチュラ** スパチュラとして爪楊枝の使用可。ただし、使い捨てとし、皮膚や爪に触れる技術に使用しないこと。
  - 爪楊枝をトレイにセッティングする場合は、蓋付容器やジッパー付ビニール袋に入れること。直接トレイに置くことは不可。

- ジェルブラシ** 試験中、ブラシの先が他の器具/材料に触れないよう、ダストがかからないよう、ライトに照射されないよう配慮し衛生的に取り扱うこと。
  - トレイに置く場合は、ブラシの先が他の器具/材料(エメリーボード類など)に触れないよう、セッティングする位置やキャップをつけるなどの配慮をすること。
  - サニタリーエリアに置く場合は、ブラシ置きを用いるなど、ブラシの先がペーパータオルに直接触れないようにすること。
  - 刷毛付ボトルのジェルを使用する場合、キャップ(刷毛)はボトルの中に戻すこと。ボトルに戻さない状態でサニタリーエリアやトレイ等に置くことは不可。

- ブラシの汚れは、ワイプ類を入れた容器またはペーパータオルの袋にセッティングしたワイプ、ペーパータオルを用いて作業エリアで拭くこと。**  
サニタリーエリア、作業エリアとして敷いたペーパータオルで拭くことは不可。また、汚れを拭くペーパータオルの重ね置きは不可。  
汚れが付着したワイプ、ペーパータオルは放置せずに破棄し、新しいものを取り出し交換すること。

- 照射時間を管理するためのタイマー** 携帯電話などの通信機器は不可。
  - サニタリーエリア以外のダストのかからない場所に置くこと。(サニタリーエリアに置くことは不可。)

**テーブルセッティング例**(右利きの例) \*下図に従ってテーブルセッティングを行って下さい。以下の事項が守れていない場合は減点となります。



- テーブルの中央に白無地タオルを敷き、利き手側にゴミ袋(ジッパー付ビニール袋)をセッティングすること。
- アームレストは白無地タオルで覆うこと。
- 器具/材料は1つのトレイにのせ、利き手側にセッティングすること。
- ジェルネイル用ランプを置く位置は指定はないが、器具/材料を照射しないよう配慮すること。(テーブルの上に囲いをする場合は不可。)  
(ランプをアームレストとして使用することは不可。)

- 照明機器のセッティングは不可。(電源は受験者1名につきジェルネイル用ランプの1つの用意とします。)
- 試験時間を管理するための時計は、受験票の上に置くこと。
- 作業エリア/サニタリーエリアとして白無地ペーパータオルを敷くこと。**  
作業エリア: 作業を行うスペース。作業エリアに器具/材料を置くことは不可。  
サニタリーエリア: 器具/材料を置く衛生的なスペース。サニタリーエリアで作業すること、汚れを拭くワイプやペーパータオル等を置くことは不可。
  - 作業エリアの白無地ペーパータオルはタオルの上に敷くこと。サニタリーエリアの白無地ペーパータオルは、テーブルの上に敷くこと。
  - 作業エリア、サニタリーエリアとして敷いた白無地ペーパータオルは、重ね敷きせず、各工程の終了時に新しい白無地ペーパータオルに交換すること。また、汚れた場合は適宜交換すること。

## 3級実技試験 各工程の詳細

\*以下の事項が守れていないと審査官が判断した場合は、失格または減点となります。

### テーブルセッティング 10分 試験で使用する器具/材料のセッティング ※セッティング時間内にモデルチェックを行います。

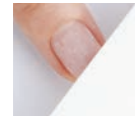
- ① 利き手側にゴミ袋をセッティングする。(ジッパー付ビニール袋をテーブルにテープで貼って固定する。)
- ② 器具用消毒液とペーパータオルを用いて、テーブルを消毒する。(使用したペーパータオルはセッティングしたゴミ袋に捨てること。)
- ③ 試験で使用する器具/材料全てをセッティングする。(セッティング例参照)

審査

\* 時間内にセッティングが終わらなかった場合や、時間外にセッティングを行った場合は失格または減点となります。

- セッティング時間外に靴から器具/材料を取り出す場合は、審査官の許可を得てから行って下さい。
- ウェットステリライザーのセッティングはテーブルセッティング時間内に行うこと。
- テーブルセッティング時間内にジェルネイル用ランプの電源を確認すること。

### プレパレーション 15分 ジェルを塗布する前の爪の準備



- ① 手指用消毒液を含ませた白無地コットンを用いて、自分の手指、次にモデルの手指を消毒する。
  - 受験者、モデルそれぞれに別のコットンを使用すること。
- ② モデルの爪 10本の表面をエッチングし、手指/爪についたダストを除去する。
  - エッチング不要のジェルを使用する場合も、グリッドの細かいバフパー類で爪表面のツヤを消す程度にエッチングを行うこと。
- ③ 使用した器具/材料を全て片付け、作業エリア/サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

審査

\* 爪10本のプレパレーションが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。ただし、ペーパータオルの交換のみが終了していなかった場合は、減点となります。

- 使用するジェルに適したエメリーボード(グリッド)でエッチングすること。
- ルーススキン、さざくれなどが残っていた場合は処理すること。
- キューティクルオイルの塗布は不可とする。

### アプリケーション 45分 カラーコーティング(右手:クリア、左手:マット赤)



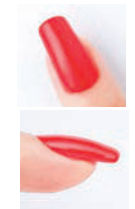
- ① モデルの爪を爪用消毒液で消毒する。
- ② モデルの右手の爪 5本をベースコーティング、トップコーティングする。  
モデルの左手の爪 5本を、ベースコーティング、カラーコーティング、トップコーティングする。
  - 右手と左手を逆に仕上げた場合(右手がマット赤、左手がクリア)、失格とする。
  - 使用するジェルが完全に硬化する時間ライトに照射すること。
- ③ 未硬化ジェルを除去する。
  - \*未硬化ジェルの生じないジェルを使用した場合は、未硬化ジェルの拭き取りを行わなくて可。

審査

\* 爪10本のアプリケーションが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。

- ベースジェル/トップジェルはクリア、カラージェルはマット赤を使用すること。
- ベースコーティング/トップコーティングはそれぞれ1コート、カラーコーティングは2コートとする。
- 施術する手指の順番に指定はないが、ライトに照射する時間を考慮した上、効率的な施術をすること。
- タイマーを使用し、ライトに照射する時間の管理をすること。ライトに照射する時間、タイミングの指定はないが、塗布したジェルを完全に硬化させること。
- アプリケーション中およびアプリケーション終了後のエメリーボード、バフパー類の使用は不可とする。
- 仕上がり後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

### 仕上がりのチェックポイント



- ジェルネイルを施すに適したネイルケアが施されていること。
- 皮膚(キューティクルライン、サイドなど)にジェルがついていないこと。
- キューティクルラインとジェルが空きすぎず、滑らかで、縮みや段差がないこと。
- サイドが適切にジェルで覆われ(空きすぎず)、滑らかで、縮みや段差がないこと。
- フリーエッジの先端がジェルで覆われていること。ただし、裏面に流れていないこと。
- 表面に凹凸がなく滑らかであること。
- 厚さが適切で均一であること。
- バブルやダストが入っていないこと。
- 表面が滑らかで、光沢がくすんでいないこと。(未硬化ジェルの除去が適切にできていること。)
- カラーが適切に発色していて色ムラがないこと。
- ★10本の爪の長さ/形/厚さのバランスが揃っていること。長さは手のひら側から見て1mm程度以上10mm程度以下。フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、10本の形(スタイル)が揃っていること。

## 2級実技試験 各工程の詳細

\*以下の事項が守れていないと審査官が判断した場合は、失格または減点となります。

### テーブルセッティング 10分 試験で使用する器具/材料のセッティング ※セッティング時間内にモデルチェックを行います。

3級と同様。

### プレパレーション 10分 ジェルを塗布する前の爪の準備



3級と同様。ただし時間は10分です。

### アプリケーション-1 20分 チップオーバーレイ



- ① モデルの爪を爪用消毒液で消毒する。
- ② チップオーバーレイ(2本)を施す。
  - 使用するジェルが完全に硬化する時間ライトに照射し、完全に仕上げること。
- ③ 未硬化ジェルを除去する。
  - \*未硬化ジェルの生じないジェルを使用した場合は、未硬化ジェルの拭き取りを行わなくて可。
- ④ 使用した器具/材料を全て片付け、作業エリア/サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

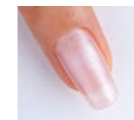
審査

チップオーバーレイは左右どの指(爪)に施してもよい。ただし試験受付の際に申告した爪に限る。\* 受付の際に、モデルの指にシールを貼付します。チップオーバーレイを施すナチュラルネイルのフリーエッジの長さは1mm程度以下であること。\*1mm程度以上あった場合は失格とする。チップオーバーレイは、他の爪と長さ/形のバランスを揃えるように仕上げること。

\* 爪2本のアプリケーションが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。ただし、ペーパータオルの交換のみが終了していなかった場合は、減点となります。

- ネイルグルー、またはレジンをを用いてネイルチップを装着すること。ネイルグルー、レジンの種類、容器の形状は問わない。ネイルグルー、レジンの速乾剤の使用不可。
- ネイルチップで爪の1/2以上を覆わないこと。
- 試験中、装着前にネイルチップを加工(コンタクトエリア、サイドを削るなど)してよい。(試験前の加工不可。)
- ネイルチップの色はナチュラルまたはクリアに限る。ウェルの形状は問わないが、爪に合ったものを使用すること。
- スカルプチュアジェル(クリア)を用いてオーバーレイを施すこと。(ベースジェル、トップジェルの併用可。)
- キューティクルオイルの塗布は不可とする。

### アプリケーション-2 45分 カラーコーティング(パールホワイト)



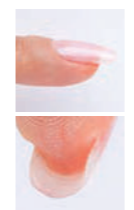
- ① モデルの爪を爪用消毒液で消毒する。  
チップオーバーレイを施した爪を、カラーコーティングできる状態にする。(エッチングなど。)
- ② モデルの爪左右10本をベースコーティング、カラーコーティング、トップコーティングする。
  - 使用するジェルが完全に硬化する時間ライトに照射すること。
- ③ 未硬化ジェルを除去する。
  - \*未硬化ジェルの生じないジェルを使用した場合は、未硬化ジェルの拭き取りを行わなくて可。

審査

\* 爪10本のアプリケーションが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。

- ベースジェル/トップジェルはクリア、カラージェルはパールホワイトを使用すること。
- ベースコーティング/トップコーティングはそれぞれ1コート、カラーコーティングは2コートとする。
- 施術する手指の順番に指定はないが、ライトに照射する時間を考慮した上、効率的な施術をすること。
- タイマーを使用し、ライトに照射する時間の管理をすること。ライトに照射する時間、タイミングの指定はないが、塗布したジェルを完全に硬化させること。
- 仕上がり後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

### 仕上がりのチェックポイント



- ★3級のチェックポイントと同様の事項。
  - ジェルネイルを施すに適したネイルケアが施されていること。
  - 皮膚(キューティクルライン、サイドなど)にジェルがついていないこと。
  - キューティクルラインとジェルが空きすぎず、滑らかで、縮みや段差がないこと。
  - サイドが適切にジェルで覆われ(空きすぎず)、滑らかで、縮みや段差がないこと。
  - フリーエッジの先端がジェルで覆われていること。ただし、裏面に流れていないこと。
  - 表面に凹凸がなく滑らかであること。
  - 厚さが適切で均一であること。
  - バブルやダストが入っていないこと。
  - 表面が滑らかで、光沢がくすんでいないこと。(未硬化ジェルの除去が適切にできていること。)
  - カラーが適切に発色していて色ムラがないこと。
- パールホワイトの色が薄すぎないこと、刷毛跡が残っていないこと。
- ネイルチップがナチュラルネイルに合っていて、爪の1/2以上を覆っていないこと。
- ネイルチップとナチュラルネイルの間に空気やダストが入っていないこと。
- ネイルチップとナチュラルネイルのブレンディングが適切に施され、段差がなく、ナチュラルネイルを削り過ぎていないこと。
- ネイルチップの裏やサイドにグルーやダスト、削り残しのバリなどが残っていないこと、チップがくすんでいないこと。
- チップオーバーレイのサイド(ストレスポイント)が適切に覆われ、適切な厚さ(ハイポイントの位置)に仕上げていること。
- ★10本の爪の長さ/形/厚さのバランスが揃っていること。長さは手のひら側から見て3mm程度以上10mm程度以下。フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、10本の形(スタイル)が揃っていること。

## 1級実技試験 各工程の詳細

\*以下の事項が守れていないと審査官が判断した場合は、失格または減点となります。

**テーブルセッティング** 10分 試験で使用する器具／材料のセッティング ※セッティング時間内にモデルチェックを行います。

3級と同様。

**プレパレーション** 10分 ジェルを塗布する前の爪の準備



3級と同様。ただし時間は10分です。

**アプリケーション-1** 20分 スカルプチュア



- ① モデルの爪を爪用消毒液で消毒する。
- ② スカルプチュア(2本)を施す。
  - 使用するジェルが完全に硬化する時間ライトに照射し、完全に仕上げること。
- ③ 未硬化ジェルを除去する。
  - \*未硬化ジェルの生じないジェルを使用した場合は、未硬化ジェルの拭き取りを行わなくて可。
- ④ 使用した器具／材料を全て片付け、作業エリア／サニタリーエリアのペーパータオルを交換する。

審査

スカルプチュアは左右どの指(爪)に施してもよい。ただし試験受付の際に申告した爪に限る。\* 受付の際に、モデルの指にシールを貼付します。スカルプチュアを施すナチュラルネイルのフリーエッジの長さは1mm程度以下であること。\* 1mm程度以上あった場合は失格とする。スカルプチュアは、他の爪と長さ／形のバランスを揃えるように仕上げること。

- \* 爪2本のアプリケーションが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。ただし、ペーパータオルの交換のみが終了していなかった場合は、減点となります。
- スカルプチュアジェル(クリア)を用いてスカルプチュアを施すこと。(ベースジェル、トップジェルの併用可。)
  - キューティクルオイルの塗布は不可とする。

**アプリケーション-2** 60分 カラーコーティング(フレンチネイル)



- ① モデルの爪を爪用消毒液で消毒する。  
スカルプチュアを施した爪を、カラーコーティングできる状態にする。(エッチングなど。)
- ② モデルの爪左右10本をベースコーティング、カラーコーティング(フレンチネイル)、トップコーティングする。
  - 使用するジェルが完全に硬化する時間、ライトに照射すること。
- ③ 未硬化ジェルを除去する。
  - \*未硬化ジェルの生じないジェルを使用した場合は、未硬化ジェルの拭き取りを行わなくて可。

審査

- \* 爪10本のアプリケーションが終了していないと審査官が判断した場合は失格となります。
- ベースジェル/トップジェルはクリア、カラージェルはフレンチネイルのピンクとホワイトを使用すること。
  - ベースコーティング/トップコーティングはそれぞれ1コート、カラーコーティングは2コートとする。(ピンク、ホワイトそれぞれ2コートとすること。)
  - 施術する手指の順番に指定はないが、ライトに照射する時間を考慮した上、効率的な施術をすること。
  - タイマーを使用し、ライトに照射する時間の管理をすること。ライトに照射する時間、タイミングの指定はないが、塗布したジェルを完全に硬化させること。
  - フレンチネイルのフレンチラインは、爪に合ったカーブであれば深さは問わない。
  - フレンチネイルのピンクとホワイトは3：1～4：1程度のバランスに仕上げること。
  - 仕上がりに後、キューティクルオイルの塗布は不可とする。

**仕上がりのチェックポイント**



- ★ 3級のチェックポイントと同様の事項。
- ジェルネイルを施すに適したネイルケアが施されていること。 ●皮膚(キューティクルライン、サイドなど)にジェルがついていないこと。
  - キューティクルラインとジェルが空きすぎず、滑らかで、縮みや段差がないこと。
  - サイドが適切にジェルで覆われ(空きすぎず)、滑らかで、縮みや段差がないこと。
  - フリーエッジの先端がジェルで覆われていること。ただし、裏面に流れていないこと。 ●表面に凹凸がなく滑らかであること。
  - 厚さが適切で均一であること。 ●パブルやダストが入っていないこと。
  - 表面が滑らかで、光沢がくすんでいないこと。(未硬化ジェルの除去が適切にできていること。) ●カラーが適切に発色していて色ムラがないこと。
- フレンチネイルのピンクとホワイトの色が薄すぎないこと、刷毛跡が残っていないこと。
- スカルプチュアのサイド(ストレスポイント)が適切に覆われ、適切な厚さ(ハイポイントの位置)に仕上がっていること。
- フレンチラインのカーブがモデルの爪に合った深さで、滑らかで鮮明に10本均一に仕上がっていること。
- フレンチネイルのピンクとホワイトが3：1～4：1程度の割合で、バランスよく10本均一に仕上がっていること。
- フレンチネイルのピンクとホワイトに色ムラがなく、適切な厚さに仕上がっていること。
- ★10本の爪の長さ／形／厚さのバランスが揃っていること。長さは手のひら側から見て3mm程度以上10mm程度以下。フリーエッジの形(スタイル)は自由。ただし、10本の形(スタイル)が揃っていること。

## 技能検定試験申込方法と受験までの流れ

### 個人(一般)でお申し込みの場合

**受付期間内** 次のどちらかの方法でお申し込み下さい。

- I-NAIL-A ウェブサイトの申し込みフォームから申し込む。(必要事項を入力し、送信する。 → 受付完了メールが送信されます。)
- 申込書をI-NAIL-A 事務局に郵送して申し込む。(締切日必着、FAXでの申し込みは受け付けておりません。)

**受付期間終了後から1週間以内** I-NAIL-A 事務局より受験料の支払用紙が送られます。

- 支払用紙に記載された期日までに記載されたコンビニエンスストアでお支払い下さい。期日までにお支払いが無かった場合は受験できません。また、期日を過ぎた後にお支払いいただいた場合につきましても受験できない場合がありますので、予めご了承ください。
- 支払用紙の発送は、試験を申し込んだ日から1週間以内ではありません。受付期間終了後から1週間以内となります。
- 受付終了日から10日を過ぎても支払用紙が届かない場合は、I-NAIL-A 事務局までお問合わせ下さい。なお、受付終了日から2週間を経過した後のお問合わせにつきましては、支払用紙の発送が出来ない場合もあります。この場合受験ができませんのでご注意ください。

**試験実施日1週間前程度** I-NAIL-A 事務局より受験票、当日のご案内が送られます。

\*試験の受付時間、試験会場につきましては、受験票に記載してのご案内となります。

当日のタイムテーブルは、原則として以下のとおりとなります。

受付	受験票に記載された受付時間内に、モデル同伴で受付を行って下さい。 受験票は、使用するジェルとジェルネイル用ランプのブランドを記入して持参して下さい。 モデルの手に受験番号の記載されたシール等を貼付させていただきます。 2級受験者はチップオーバーレイ、1級受験者はスカルプチュアを施す爪を申告して下さい。 モデルにリベア等が施されている場合は、受付の際に必ず申告して下さい。 受付開始時間前の受付および会場への入場はできません。
実技試験	試験時間は受付時間終了後から審査時間を含み、3級90分、2級105分、1級120分程度です。 3級学科試験免除者、2級、1級は実技試験終了後、退室となります。 実技試験終了後、会場内でネイル施術行為はできません。 また、会場近隣の施設(飲食店なども含む)でのネイル施術行為も禁止です。
学科試験(3級のみ)	モデルの待機場所はあります。モデルは実技試験終了後、会場から退室となります。

**試験実施日から1週間程度後**

試験結果をI-NAIL-A ウェブサイトにおいて期間限定で発表します。(発表内容および期間は試験当日のご案内させていただきます。)

- 次回(翌々月)実施試験をお申し込みの場合は、試験結果を確認の上、受付期間内にお申し込み下さい。

**検定試験実施日から1ヶ月程度後** I-NAIL-A 事務局より以下のものが送られます。

- 合否通知 / 実技試験結果通知(実技試験受験者のみ) / 用紙タイプ(A4サイズ)の認定証(認定者のみ)
- カードタイプ認定証は希望者へのみ発行いたします。(有料)

### 団体(加盟サロン/スクール)でお申し込みの場合

加盟団体の指示に従って下さい。(送付物は全て団体宛に送付されます。)

- 試験日程(受付期間)、検定対策セミナー日程はI-NAIL-Aウェブサイトでご確認下さい。
- 試験要項、ブランド別対応商品一覧はI-NAIL-AウェブサイトからPDFファイルでダウンロードできます。  
ジェルブランド、対応商品は随時更新されております。試験申込の際は「ブランド別対応商品一覧」を必ず確認して下さい。  
\* PDFファイルをダウンロード(プリントアウト)できない場合は、I-NAIL-A事務局までお問合わせ下さい。
- 参考テキスト『ネイル・プロフェッショナル』『ネイル・プロフェッショナル ジェルネイル編』『検定試験対応例題集』はネイルディーラーの他、I-NAIL-Aウェブサイトから購入できます。
- 認定証(A4サイズ・用紙タイプ)の再発行、カードタイプ認定証のお申込みは、I-NAIL-Aウェブサイト「検定試験要項」ページの申し込みフォームよりお申し込み下さい。

### 3級の実技試験免除制度について

I-NAIL-A認定ネイルスペシャリスト技能検定試験3級 実技試験免除指定スクールまたは指定理美容専門学校において、NSテクニカルディレクター(検定指導員)により実技試験合格の認定を受けた場合は、3級の実技試験が免除となり、学科試験のみの受験でライセンスを取得することができます。免除者には、実技試験免除番号が通知されます。実技試験免除制度及び実技試験免除指定スクール・指定理美容専門学校についての詳細につきましては、I-NAIL-Aウェブサイトをご参照ください。

- 試験内容および合否に関するお問合せは、いかなる場合もお答えできません。
- 技能検定試験申込後の申込内容(日程等)の変更、返金はいかなる場合もできません。

NPO法人 インターナショナル ネイル アソシエーション(I-NAIL-A) 事務局  
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-5-1 ボックスハイツ5F TEL 03-6277-3877(平日10:00~17:30)  
<http://www.i-nail-a.org>

## 安全なジェルネイルの施術のために

ジェルネイルは、光重合という化学反応を用いたものです。

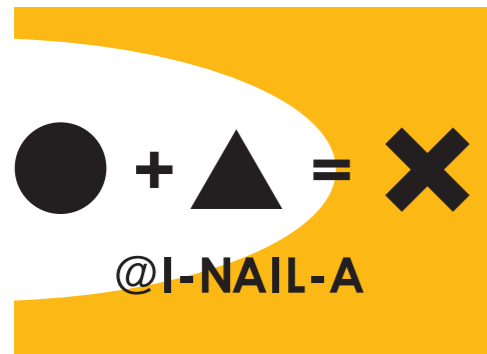
施術者は、化学反応を爪の上で起しているという意識を忘れてはいけません。

ジェルは製品(メーカー・ブランド)により、含まれる成分や配合、重合する際の分子の結合状態が異なるため、誤った取り扱いには適切なジェルネイルが仕上がらないだけでなく、トラブルが生じることもあります。

安全な施術を行うためには、次のことを守り、メーカー(ブランド)の指示に従った正しい施術を心がけましょう。

- ジェル製品に適したランプ(ライト)を使用すること。
- 異なるメーカー(ブランド)のジェル製品を混合しないこと。
- 異なるメーカー(ブランド)のジェル製品を併用しないこと。

\*日本国内で正規に販売されているジェル製品には、成分や製造番号等が記載されています。  
記載事項や製品パンフレット、取扱説明書をよく読み、ジェル製品は正しくお使い下さい。



異なるジェルブランドの混合、  
併用はお勧めしておりません。  
ジェル製品は正しくご使用下さい。

インターナショナルネイルアソシエーション(I-NAIL-A)では、  
ジェル製品の正しい使用を促していくために、上記のマークを使用した  
啓蒙キャンペーンを展開します。  
皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



NPO法人 インターナショナル ネイル アソシエーション 行

## ジェルネイル技能検定試験 受験申込書

申し込む級および免除科目について 該当する箇所に☑でチェックしてください。

申し込む級	免除科目の有無等	受験料(税別)
<input type="checkbox"/> 3級	<input type="checkbox"/> 新規受験 <input type="checkbox"/> 再受験で免除科目がない。 <input type="checkbox"/> 再受験で免除科目がある。	10,000円 10,000円 7,000円
<input type="checkbox"/> 2級	<input type="checkbox"/> 新規受験 <input type="checkbox"/> 再受験 3級認定番号 _____	10,000円 10,000円
<input type="checkbox"/> 1級	<input type="checkbox"/> 新規受験 <input type="checkbox"/> 再受験 2級認定番号 _____	10,000円 10,000円

実技試験免除番号がある場合はこちらにご記入ください。

申し込む級	免除科目の有無等	受験料(税別)
<input type="checkbox"/> 3級	<input type="checkbox"/> 新規受験 実技試験免除番号 _____ <input type="checkbox"/> 再受験 実技試験免除番号 _____	10,000円 7,000円

申し込む受験日および受験会場

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月 \_\_\_\_\_日 \_\_\_\_\_会場

氏名(漢字) *再受験の方のうち、前回受験から氏名に変更がある場合は、旧氏名と新氏名の両方をご記入ください。
氏名(カタカナ)
氏名(ローマ字) *全て大文字で記入。認定証に使用します。
住所 *ヨミガナを記入。ビル、マンションの場合は建物名まで記入。(記入がない場合送付物が届かない場合があります。) 〒 _____
連絡先 *日中に連絡がつく電話番号を記入。(携帯電話可)

キ

リ

ト

リ